



## 設定ファイルの取り扱い

この章では、デバイスの構成ファイルを操作する手順を説明します。

- [コンフィギュレーション ファイルの概要, on page 1](#)
- [構成ファイルに関する注意事項と制限事項 \(2 ページ\)](#)
- [コンフィギュレーション ファイルの管理, on page 2](#)
- [デバイス コンフィギュレーションの確認, on page 13](#)
- [コンフィギュレーション ファイルを使用した作業例, on page 14](#)
- [構成ファイルの関連資料 \(15 ページ\)](#)

## コンフィギュレーション ファイルの概要

コンフィギュレーションファイルには、Cisco NX-OS デバイス上の機能を設定するために使用される Cisco NX-OS ソフトウェアのコマンドが保存されます。コマンドは、システムを起動したとき (startup-config ファイルから)、またはコンフィギュレーションモードで CLI にコマンドを入力したときに、Cisco NX-OS ソフトウェアによって解析 (変換および実行) されます。

スタートアップ構成ファイルを変更するには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用してスタートアップ構成に実行構成ファイルを保存するか、ファイルサーバーからスタートアップ構成へ構成ファイルをコピーします。

## コンフィギュレーション ファイルのタイプ

Cisco NX-OS ソフトウェアのコンフィギュレーションファイルには、実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションの2種類があります。デバイスは、その起動時にスタートアップコンフィギュレーション (startup-config) を使用して、ソフトウェア機能を設定します。実行コンフィギュレーション (running-config) には、スタートアップコンフィギュレーションファイルに対して行った現在の変更が保存されます。2つのコンフィギュレーションファイルは別々の設定にできます。デバイス構成は、永続的ではなく一時的に変更することもできます。この場合、グローバルコンフィギュレーションモードでコマンドを使用することにより、実行コンフィギュレーションを変更しますが、スタートアップコンフィギュレーションにはその変更を保存しないようにします。

実行構成を変更するには、**configure terminal** コマンドを使用して、グローバル構成モードを開始します。Cisco NX-OS コンフィギュレーションモードの使用時には、通常コマンドはすぐに実行され、入力直後またはコンフィギュレーションモードを終了した時点で実行コンフィギュレーションファイルに保存されます。

スタートアップコンフィギュレーションファイルを変更するには、実行コンフィギュレーションファイルをスタートアップコンフィギュレーションに保存するか、コンフィギュレーションファイルをファイルサーバからスタートアップコンフィギュレーションにダウンロードします。

## 構成ファイルに関する注意事項と制限事項

構成ファイルに関する注意事項と制限事項は次のとおりです。

## コンフィギュレーションファイルの管理

ここでは、コンフィギュレーションファイルの管理方法について説明します。

## 実行コンフィギュレーションのスタートアップコンフィギュレーションへの保存

実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションに保存することで、次にデバイスをリロードするときのために変更を保存できます。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **show running-config**
2. **copy running-config startup-config**

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action  | Purpose                                   |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | (Optional) <b>show running-config</b><br><br><b>Example:</b><br>switch# show running-config                    | 実行設定を表示します。                               |
| ステップ 2 | <b>copy running-config startup-config</b><br><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config startup-config | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。 |

## リモートサーバへのコンフィギュレーションファイルのコピー

内部メモリに保存されたコンフィギュレーションファイルのリモートサーバにコピーして、バックアップとして使用したり、他の Cisco NX-OS デバイスを設定するために使用したりすることができます。

### SUMMARY STEPS

1. **copy schemerunning-configserver://[url /]filename /**
2. **copy schemestartup-configserver://[url /]filename /**

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action   | Purpose  |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | <b>copy schemerunning-configserver://[url /]filename /</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy running-config tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak</pre>   | リモートサーバへ実行コンフィギュレーションファイルをコピーします。<br><br><i>scheme</i> 引数に対しては、 <b>tftp:</b> 、 <b>ftp:</b> 、 <b>scp:</b> 、または <b>sftp:</b> を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソースファイルへのパスです。<br><br><i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。      |
| ステップ 2 | <b>copy schemestartup-configserver://[url /]filename /</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy startup-config tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak</pre> | スタートアップコンフィギュレーションファイルのリモートサーバにコピーします。<br><br><i>scheme</i> 引数に対しては、 <b>tftp:</b> 、 <b>ftp:</b> 、 <b>scp:</b> 、または <b>sftp:</b> を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソースファイルへのパスです。<br><br><i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。 |

### Example

次に、リモートサーバへ構成ファイルをコピーする例を示します。

```
switch# copy running-config
tftp://10.10.1.1/sw1-run-config.bak
switch# copy startup-config
tftp://10.10.1.1/sw1-start-config.bak
```

## リモートサーバからの実行コンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモートサーバにアップロードしたコンフィギュレーションファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。このファイルを、リモートサーバから TFTP、FTP、Secure Copy (SCP) を使用してデバイスに、または Secure Shell FTP (SFTP) を使用して実行コンフィギュレーションにダウンロードします。

### Before you begin

ダウンロードするコンフィギュレーションファイルが、リモートサーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモートサーバにルーティングされることを確認します。サブネット間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルトゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモートサーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

**ping** または **ping6** コマンドを使用して、リモートサーバへの接続を確認します。

### SUMMARY STEPS

1. **copy scheme://server[/url/]filename running-config**
2. (Optional) **show running-config**
3. (Optional) **copy running-config startup-config**
4. (Optional) **show startup-config**

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action   | Purpose   |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | <b>copy scheme://server[/url/]filename running-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config</pre> | リモートサーバから実行コンフィギュレーションファイルをダウンロードします。<br><br><i>scheme</i> 引数に対しては、 <b>tftp:</b> 、 <b>ftp:</b> 、 <b>scp:</b> 、または <b>sftp:</b> を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソースファイルへのパスです。<br><br><i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。 |
| ステップ 2 | (Optional) <b>show running-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# show running-config</pre>  | 実行設定を表示します。   |
| ステップ 3 | (Optional) <b>copy running-config startup-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy running-config startup-config</pre>                  | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。   |

|        | Command or Action   | Purpose                   |
|--------|---|---------------------------|
| ステップ 4 | (Optional) <b>show startup-config</b><br><br><b>Example:</b><br>switch# show startup-config | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。 |

## リモートサーバからのスタートアップコンフィギュレーションのダウンロード

別の Cisco NX-OS デバイスで作成し、リモートサーバにアップロードしたコンフィギュレーションファイルを使用して、Cisco NX-OS デバイスを設定できます。このファイルを、リモートサーバから TFTP、FTP、Secure Copy (SCP) を使用してデバイスに、または Secure Shell FTP (SFTP) を使用してスタートアップコンフィギュレーションにダウンロードします。



**Caution** この手順を実行すると、Cisco NX-OS デバイス上のすべてのトラフィックが中断されます。

### Before you begin

コンソールポート上のセッションにログインします。

ダウンロードするコンフィギュレーションファイルが、リモートサーバの正しいディレクトリにあることを確認します。

ファイルに対する許可が正しく設定されていることを確認します。ファイルのアクセス権は、誰でも読み取り可能に設定されている必要があります。

Cisco NX-OS デバイスがリモートサーバにルーティングされることを確認します。サブネットワーク間でトラフィックをルーティングするルータまたはデフォルトゲートウェイがない場合、Cisco NX-OS デバイスとリモートサーバは同一のサブネットワーク内にある必要があります。

**ping** または **ping6** コマンドを使用して、リモートサーバーへの接続を確認します。

### SUMMARY STEPS

1. **write erase**
2. **reload**
3. **copy scheme://server[/url /]filename running-config**
4. **copy running-config startup-config**
5. (Optional) **show startup-config**

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action                         | Purpose                       |
|--------|---|-------------------------------|
| ステップ 1 | <b>write erase</b><br><br><b>Example:</b> | スタートアップコンフィギュレーションファイルを削除します。 |

|        | Command or Action  | Purpose   |
|--------|--|---|
|        | switch# write erase  |   |
| ステップ 2 | <b>reload</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# reload This command will reboot the system. (y/n)? [n] y ... Enter the password for "admin": &lt;password&gt; Confirm the password for "admin": &lt;password&gt; ... Would you like to enter the basic configuration dialog (yes/no): n switch#</pre> | Cisco NX-OS デバイスをリロードします。<br><b>Note</b> デバイスを設定するために、セットアップユーティリティを使用しないでください。   |
| ステップ 3 | <b>copy scheme://server[/url /]filename running-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy tftp://10.10.1.1/my-config running-config</pre>   | リモートサーバから実行コンフィギュレーションファイルをダウンロードします。<br><i>scheme</i> 引数に対しては、 <b>tftp:</b> 、 <b>ftp:</b> 、 <b>scp:</b> 、または <b>sftp:</b> を入力できます。 <i>server</i> 引数は、リモートサーバのアドレスまたは名前であり、 <i>url</i> 引数はリモートサーバにあるソースファイルへのパスです。<br><i>server</i> 、 <i>url</i> 、および <i>filename</i> の各引数は、大文字小文字を区別して入力します。 |
| ステップ 4 | <b>copy running-config startup-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# copy running-config startup-config</pre>  | 実行コンフィギュレーションファイルをスタートアップコンフィギュレーションファイルとして保存します。   |
| ステップ 5 | (Optional) <b>show startup-config</b><br><b>Example:</b><br><pre>switch# show startup-config</pre>   | 実行設定を表示します。   |

## 外部フラッシュメモリデバイスへのコンフィギュレーションファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーションファイルをバックアップとして外部フラッシュメモリデバイスにコピーできます。

### Before you begin

外部フラッシュメモリデバイスを、アクティブなスーパーバイザモジュールに挿入します。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]**

2. **copy running-config** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename
3. **copy startup-config** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename

#### DETAILED STEPS

|        | Command or Action   | Purpose   |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | (Optional) <b>dir</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]<br><br><b>Example:</b><br>switch# dir slot0:   | 外部フラッシュメモリ デバイス上のファイルを表示します。  |
| ステップ 2 | <b>copy running-config</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]filename<br><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config<br>slot0:dsn-running-config.cfg | 外部フラッシュメモリ デバイスに実行コンフィギュレーションをコピーします。filename の引数では大文字と小文字が区別されます。      |
| ステップ 3 | <b>copy startup-config</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]filename<br><br><b>Example:</b><br>switch# copy startup-config<br>slot0:dsn-startup-config.cfg | 外部フラッシュメモリ デバイスにスタートアップコンフィギュレーションをコピーします。filename の引数では大文字と小文字が区別されます。 |

## 外部フラッシュメモリ デバイスからの実行構成のコピー

Cisco NX-OS デバイスを設定するには、別の Cisco NX-OS デバイスで作成され、外部フラッシュメモリ デバイスに保存されたコンフィギュレーション ファイルをコピーします。

#### Before you begin

外部フラッシュメモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

#### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]
2. **copy** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename **running-config**
3. (Optional) **show running-config**
4. (Optional) **copy running-config startup-config**
5. (Optional) **show startup-config**

#### DETAILED STEPS

|        | Command or Action   | Purpose                      |
|--------|---|------------------------------|
| ステップ 1 | (Optional) <b>dir</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]<br><br><b>Example:</b><br>switch# dir slot0: | 外部フラッシュメモリ デバイス上のファイルを表示します。 |

|        | Command or Action  | Purpose   |
|--------|--|---|
| ステップ 2 | <b>copy</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]filename<br><b>running-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy slot0:dsn-config.cfg running-config | 外部フラッシュメモリ デバイスから実行コンフィギュレーションをコピーします。filename の引数では大文字と小文字が区別されます。 |
| ステップ 3 | (Optional) <b>show running-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# show running-config  | 実行設定を表示します。   |
| ステップ 4 | (Optional) <b>copy running-config startup-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config startup-config                                    | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。                           |
| ステップ 5 | (Optional) <b>show startup-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# show startup-config  | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。   |

## 外部フラッシュメモリ デバイスからのスタートアップ構成のコピー

Cisco NX-OS デバイス上のスタートアップ コンフィギュレーションを復元するには、外部フラッシュメモリ デバイスに保存された新しいスタートアップコンフィギュレーションファイルをダウンロードします。

### Before you begin

外部フラッシュメモリ デバイスを、アクティブなスーパーバイザ モジュールに挿入します。

### SUMMARY STEPS

1. (Optional) **dir** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]
2. **copy** {slot0: | usb1: | usb2:}[directory/]filename **startup-config**
3. (Optional) **show startup-config**

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action  | Purpose  |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | (Optional) <b>dir</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]<br><b>Example:</b><br>switch# dir slot0:  | 外部フラッシュメモリ デバイス上のファイルを表示します。   |
| ステップ 2 | <b>copy</b> {slot0:   usb1:   usb2:}[directory/]filename<br><b>startup-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy slot0:dsn-config.cfg startup-config | 外部フラッシュメモリ デバイスからスタートアップコンフィギュレーションをコピーします。filename の引数では大文字と小文字が区別されます。 |



|        | Command or Action   | Purpose                   |
|--------|---|---------------------------|
| ステップ 3 | (Optional) <b>show startup-config</b><br><br><b>Example:</b><br>switch# show startup-config | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。 |

## 内部ファイルシステムへのコンフィギュレーションファイルのコピー

後で使用するために、コンフィギュレーションファイルをバックアップとして内部メモリにコピーできます。

### SUMMARY STEPS

1. **copy running-config** [*filesystem:*][*directory/*] | [*directory/*]*filename*
2. **copy startup-config** [*filesystem:*][*directory/*] | [*directory/*]*filename*

### DETAILED STEPS

|        | Command or Action  | Purpose  |
|--------|--|--|
| ステップ 1 | <b>copy running-config</b> [ <i>filesystem:</i> ][ <i>directory/</i> ]   [ <i>directory/</i> ] <i>filename</i><br><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config<br>bootflash:sw1-run-config.bak   | 実行コンフィギュレーションファイルを内部メモリにコピーします。<br><br><i>filesystem</i> 、 <i>directory</i> 、および <i>filename</i> の各引数では、大文字と小文字が区別されます。      |
| ステップ 2 | <b>copy startup-config</b> [ <i>filesystem:</i> ][ <i>directory/</i> ]   [ <i>directory/</i> ] <i>filename</i><br><br><b>Example:</b><br>switch# copy startup-config<br>bootflash:sw1-start-config.bak | スタートアップコンフィギュレーションファイルを内部メモリにコピーします。<br><br><i>filesystem</i> 、 <i>directory</i> 、および <i>filename</i> の各引数では、大文字と小文字が区別されます。 |

## 以前の構成へのロールバック

メモリ破損などの障害が発生し、バックアップされたバージョンからコンフィギュレーションを復元することが必要になる場合があります。



### Note

**copy running-config startup-config** コマンドを実行するたびに、バイナリファイルが作成され、ASCIIファイルが更新されます。有効なバイナリコンフィギュレーションファイルを使用すると、ブート全体の時間が大幅に短縮されます。バイナリファイルはアップロードできませんが、その内容を使用して既存のスタートアップコンフィギュレーションを上書きできます。  
**write erase** コマンドがバイナリファイルをクリアします。

## SUMMARY STEPS

1. **write erase**
2. **reload**
3. **copy configuration\_file running-configuration**
4. **copy running-config startup-config**

## DETAILED STEPS

|        | Command or Action   | Purpose   |
|--------|---|---|
| ステップ 1 | <b>write erase</b><br><b>Example:</b><br>switch# write erase  | スイッチの現在のコンフィギュレーションを削除します。  |
| ステップ 2 | <b>reload</b><br><b>Example:</b><br>switch# reload  | デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステムイメージファイルを提供するよう求められます。<br><br><b>Note</b> デフォルトでは、 <b>reload</b> コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。<br><br>Cisco NX-OS 6.2(2) 以降、 <b>reload ascii</b> コマンドを使用して、デバイスのリロード時に構成の ASCII バージョンをスタートアップ構成にコピーできます。 |
| ステップ 3 | <b>copy configuration_file running-configuration</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy bootflash:start-config.bak<br>running-configuration | 以前に保存されたコンフィギュレーションファイルを実行コンフィギュレーションにコピーします。<br><br><b>Note</b> <i>configuration_file</i> ファイル名引数では、大文字と小文字が区別されます。  |
| ステップ 4 | <b>copy running-config startup-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config startup-config                                  | 実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。  |

## 存在しないモジュールのコンフィギュレーションの削除

シャーシから I/O モジュールを取り外す場合は、実行コンフィギュレーションからそのモジュールのコンフィギュレーションを削除することもできます。



**Note** シャーシの空のスロットに対するコンフィギュレーションのみを削除できます。

**Before you begin**

シャーンから I/O モジュールを取り外します。

**SUMMARY STEPS**

1. (Optional) **show hardware**
2. **purge module slot running-config**
3. (Optional) **copy running-config startup-config**

**DETAILED STEPS**

|        | Command or Action   | Purpose                                      |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | (Optional) <b>show hardware</b><br><b>Example:</b><br>switch# show hardware   | デバイスに取り付けられたハードウェアを表示します。                    |
| ステップ 2 | <b>purge module slot running-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# purge module 3 running-config                   | 実行コンフィギュレーションから存在しないモジュールのコンフィギュレーションを削除します。 |
| ステップ 3 | (Optional) <b>copy running-config startup-config</b><br><b>Example:</b><br>switch# copy running-config startup-config | 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。    |

**構成の削除**

デバイス上のコンフィギュレーションを削除して、工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

デバイス上の永続メモリに保存された次のコンフィギュレーションファイルを削除できます。

- 新興企業
- Boot
- [デバッグ (Debug) ]

**write erase** コマンドを使用すると、次のものを除くすべてのスタートアップ構成が削除されます。

- ブート変数定義
- 次のものを含む mgmt0 インターフェイス上の IPv4 コンフィギュレーション
  - アドレス
  - サブネット マスク

ブート変数の定義を削除するには、手順 1 と手順 2 に従います。

管理インターフェイスのブート変数、実行構成、および IP 構成を削除するには、手順 3 から手順 5 に従います。

## SUMMARY STEPS

1. **write erase boot**
2. **reload**
3. **write erase**
4. **write erase boot**
5. **reload**

## DETAILED STEPS

|        | Command or Action  | Purpose   |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | <b>write erase boot</b><br><b>Example:</b><br><br>switch# write erase boot | ブート変数定義を消去します。  |
| ステップ 2 | <b>reload</b><br><b>Example:</b><br><br>switch# reload                     | デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステムイメージファイルを提供するよう求められます。デフォルトでは、 <b>reload</b> コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。 |
| ステップ 3 | <b>write erase</b><br><b>Example:</b><br><br>switch# write erase           | ブート変数定義を消去します。  |
| ステップ 4 | <b>write erase boot</b><br><b>Example:</b><br><br>switch# write erase boot | 管理インターフェイスのブート変数定義と IPv4 構成が消去されます。   |
| ステップ 5 | <b>reload</b><br><b>Example:</b><br><br>switch# reload                     | デバイスを再起動します。ブートして実行するデバイス用のキックスタートおよびシステムイメージファイルを提供するよう求められます。デフォルトでは、 <b>reload</b> コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。 |

## 非アクティブなコンフィギュレーションのクリア

非アクティブなサービス品質 (QoS) やアクセス制御リスト (ACL) の構成はクリアできません。

### 手順の概要

1. (任意) **show running-config** タイプ **inactive-if-config**
2. **clear inactive-config** *policy*
3. (任意) **show inactive-if-config log**

### 手順の詳細

|        | コマンドまたはアクション   | 目的  |
|--------|--|---|
| ステップ 1 | (任意) <b>show running-config</b> タイプ <b>inactive-if-config</b><br>例 :<br><pre># show running-config ipqos inactive-if-config</pre>  | 非アクティブな QoS と ACL のコンフィギュレーションをすべて表示します。<br><br><i>type</i> 引数の値は、 <b>aclmgr</b> および <b>ipqos</b> です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>aclmgr</b> : <b>aclmgr</b> の非アクティブな構成を表示します。</li> <li>• <b>ipqos</b> : <b>qosmgr</b> の非アクティブな構成を表示します。</li> </ul>   |
| ステップ 2 | <b>clear inactive-config</b> <i>policy</i><br>例 :<br><pre># clear inactive-config qos clear qos inactive config Inactive if config for QoS manager is saved at/bootflash/qos_inactive_if_config.cfg for vdc default &amp; for other than default vdc: /bootflash/vdc_x/qos_inactive_if_config.cfg (where x is vdc number) you can see the log file @ show inactive-if-config log</pre> | 非アクティブなコンフィギュレーションをクリアします。<br><br><i>policy</i> 引数の値は、 <b>qos</b> および <b>acl</b> です。<br><br>次に、値について説明します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>qos</b> : 非アクティブな QoS 構成をクリアします。</li> <li>• <b>acl</b> : 非アクティブな ACL 構成をクリアします。</li> <li>• <b>acl qos</b> : 非アクティブな ACL 構成および非アクティブな QoS 構成をクリアします。</li> </ul> |
| ステップ 3 | (任意) <b>show inactive-if-config log</b><br>例 :<br><pre># show inactive-if-config log</pre>   | 非アクティブなコンフィギュレーションをクリアするのに使用されたコマンドを表示します。  |

## デバイス コンフィギュレーションの確認

構成を確認するためには、次のいずれかのコマンドを使用します。

| コマンド                       | 目的                           |
|----------------------------|------------------------------|
| <b>show running-config</b> | Running Configuration を表示します |
| <b>show startup-config</b> | スタートアップコンフィギュレーションを表示します。    |

これらのコマンドの出力フィールドの詳細については、ご使用のデバイスの『Cisco Nexus Command Reference』を参照してください。

## コンフィギュレーションファイルを使用した作業例

ここでは、コンフィギュレーションファイルを使用した作業例を示します。

### コンフィギュレーションファイルのコピー

次に、bootflash: ファイルシステムに実行コンフィギュレーションをコピーする例を示します。

```
switch# copy system:running-config bootflash:my-config
```

### コンフィギュレーションファイルのバックアップ

この例では、bootflash: ファイルシステムにスタートアップコンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config bootflash:my-config
```

この例では、TFTP サーバにスタートアップコンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy startup-config tftp://172.16.10.100/my-config
```

この例では、bootflash: ファイルシステムに実行コンフィギュレーションをバックアップする方法を示します（ASCII ファイル）。

```
switch# copy running-config bootflash:my-config
```

### 以前の構成へのロールバック

現在のコンフィギュレーションを以前保存したコンフィギュレーションのスナップショットコピーにロールバックするには、次の手順を実行する必要があります。

1. **write erase** コマンドで、現在の実行イメージをクリアします。
2. **reload** コマンドで、デバイスを再起動します。



**Note** デフォルトでは、**reload** コマンドは、スタートアップ構成のバイナリバージョンを使用してデバイスをリロードします。

**reload ascii** コマンドを使用すれば、デバイスのリロード時に構成の ASCII バージョンをスタートアップ構成にコピーできます。

3. **copy configuration\_file running-configuration** コマンドで、以前保存した構成ファイルを実行構成にコピーします。
4. **copy running-config startup-config** コマンドを使用して、実行構成をスタートアップ構成にコピーします。

## 構成ファイルの関連資料

| 関連項目                | マニュアルタイトル                                |
|---------------------|--|
| Cisco NX-OS ライセンス設定 | 『Cisco NX-OS Licensing Guide』            |
| コマンドリファレンス          | Cisco Nexus 3548 スイッチ NX-OS 基本コマンドリファレンス |





## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。